

八百屋塾通信 Vol.32

八百屋塾ホームページをごらんください
▼「八百屋へ行こう」で検索
<http://www.shoukumi.or.jp/index.htm>

産地視察

静岡県の「サンファーム富士小山」で高糖度トマト「アメーラ」栽培を視察しました

富士のふもとで育つ高糖度トマト



夏期に低温管理するより冬期に加温する方がコスト等が抑えられるので、高地など冷涼な地域に作られる



苗は一般的な桃太郎系。4つの育苗室で順に育てられ植えつけられる



植え付けはヤシガラベースの土壌に行く。肥料の配合はトップシークレット



作業道具も、障害をもつスタッフが識別しやすいように配置されている



雪が降る場所で通年栽培・出荷するために、管理棟や栽培ハウスをつなぐ通路にも屋根がある



ポットサイズが小さく、水ストレス負荷栽培なので、ひとつの苗から収穫は3段のみ



肥料を含む養液を、ギリギリまで絞って与える



このパイプで、苗の光合成に必要な二酸化炭素をハウスへ送り込む。二酸化炭素は、可能な限り環境負荷を低減させて生成し、送り込む量は、消費した分だけ



日夜新しい苗の選定や、栽培方法のさらなる改良を重ねている

●飯塚高史八百屋塾実行委員長

感心したのは、作業スタッフとして地元の障害を持つ人を雇っていること。作業場は色や数字で識別できるように工夫され、所長の名前も親しみやすく「チャン」づけで書かれていた。また、基準の糖度に達しない物は出荷せず、近くの道の駅や自社で販売していることも印象に残った。

●タナカトウコさん

もっとも印象的だったのは、圃場の清潔感です。広いハウスの中やハウスを繋ぐ通路の隅々まで整理整頓が素晴らしく行き届いていたのは、農福連携のよき影響とのこと。また、農園の皆様も素敵な方ばかりで、トマト栽培にかける情熱もすごい！すっかりアメーラトマトのファンになりました。

■動画コーナーをご覧ください

実行委員長ほか取材陣が産地視察行ったようすが掲載されています
[動画ページへは、こちらから→](#)



■トマトの情報は八百屋塾ホームページで

◆講演：2018年4月8日 東京青果(株) 長掛雄治氏／2013年5月19日 タキイ種苗(株) 河内修氏／2010年5月16日 神奈川県農業技術センター 北宜裕氏／2016年6月12日 さいたま榎本農園代表 榎本健司氏／2012年6月17日 JA長生施設野菜部会 田辺一也氏／2011年6月19日 タキイ種苗(株) 藤井厚氏／2009年8月23日 タキイ種苗(株) 藤井厚氏



[八百屋塾ホームページへは、こちらから→](#)